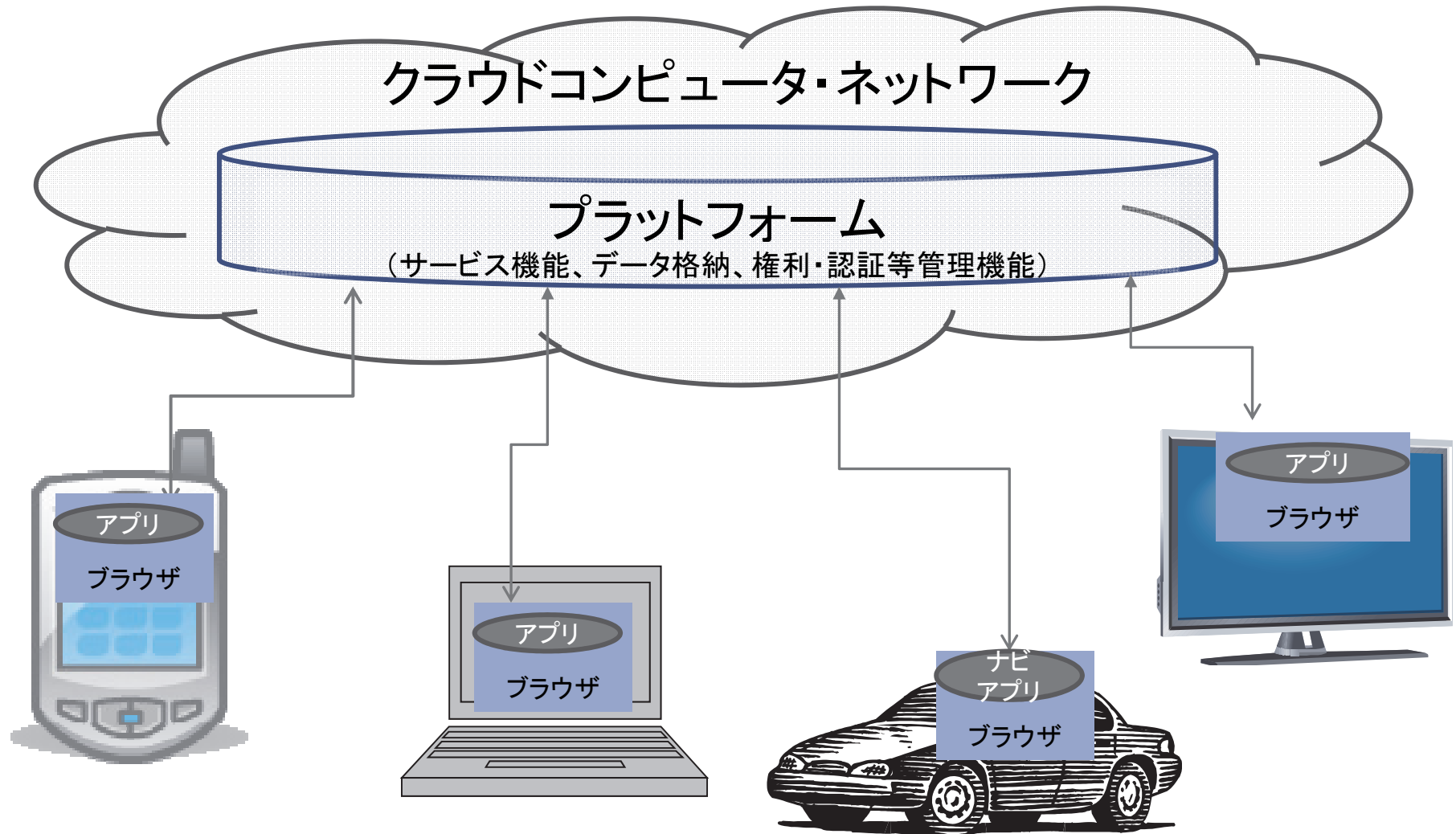


# 統合ポータルへの期待

慶應義塾大学総合政策学部  
國領二郎



# クラウドとIOTが連動する社会



全てのヒトとモノがつながる

# データ集積がサービス価値を生み出す経済

- IoTで集まる膨大な現場データ
- 学習技術の発達  
ディープラーニング分野(AI)におけるブレークスルー

人間を超越した「認識」をAIが持つように??

# 学術も在り方そのものが変わる

単独の論文による評価→論文のネットワーク化

オンライン作業による国際連携プロジェクト。研究の早期からネットワーク化

市井の研究者を動員するシチズンサイエンス

論文ではなく、データの段階で公開するデータジャーナル

ネットワークに相応しい権利処理形態の模索(オープンアクセス論文化が象徴)

# 官民連携で学術データビジネスの育成を

## 3つの戦略

1. 新しい世代に「先回り」する。時代は出版物のプラットフォームの時代から、研究そのもののプラットフォームの時代へと転換しつつある
2. オープン化を積極的に主導する。グーグルなどのコンテンツ囲い込みに対抗する
3. 官民連携の産業育成で(1)著作権やその他の制約を受けない自由な情報流通と、(2)ビジネスによるきめ細かなサービスの展開を、両立させる

# ジャパンサーチへの期待

日本文化に対する国際的な関心は高い

⇒ メタデータ流通の価値は高い

特に留意すべきは個人ブログや二次創作での利用

⇒ コントロールや課金のメカニズムを用意しつつ  
積極的な活用を促す

収益ビジネスへの利用を認めることでマーケットは生まれる

⇒ フルコンテンツへの「送客」で収益をはかる

⇒ 流行やトレンド分析に活用

⇒ ターゲットマーケティング（但しプライバシー保護）

メタデータレベルでは無償流通を！

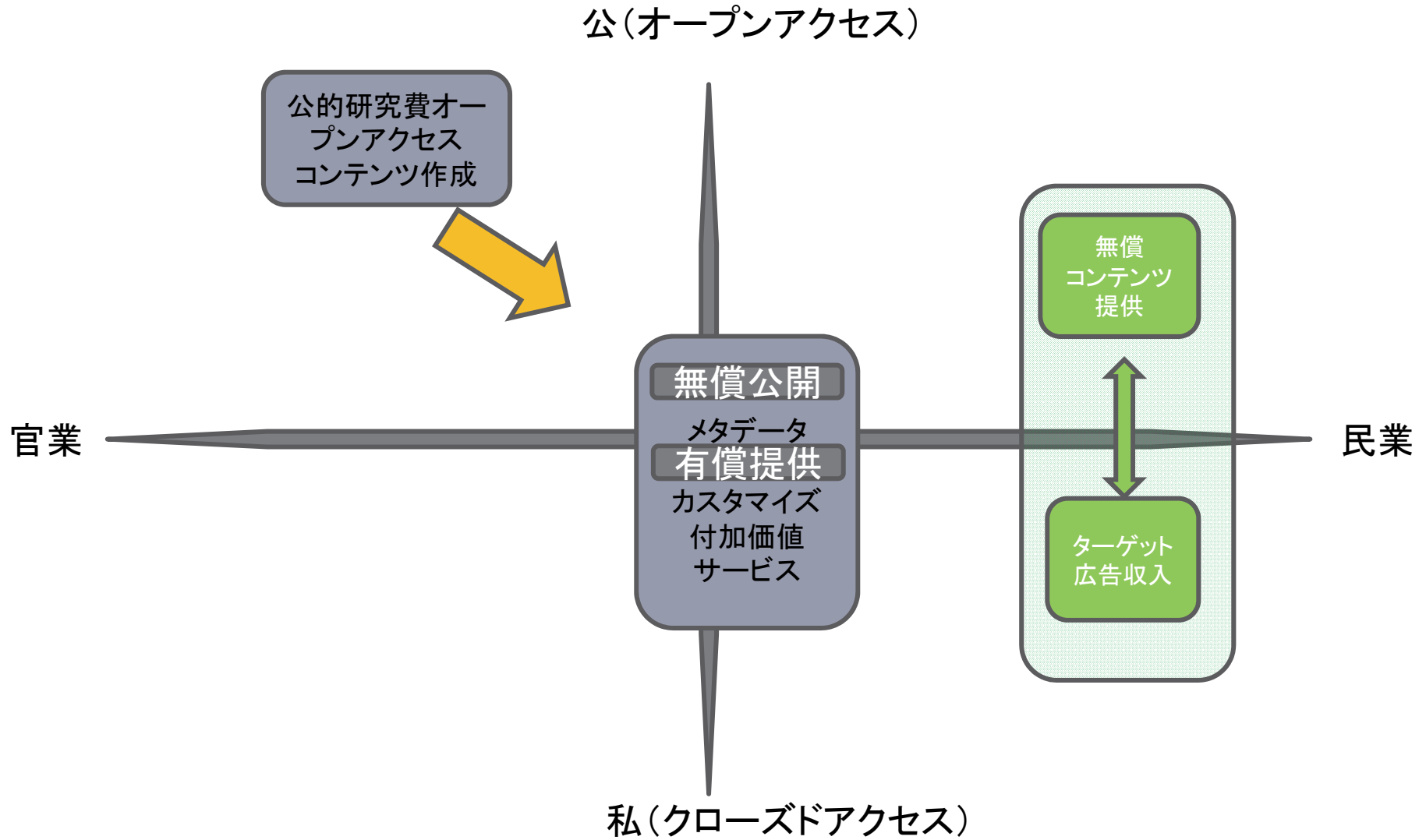
⇒ フルコンテンツへの「送客」で収益をはかる

但しメタデータにもコストはかかる、、、

⇒ フルコンテンツへの「送客」で収益をはかる

⇒ JASRACの利用頻度高いコンテンツで「品揃え」  
を広く持つモデルが参考になる

# 官民でエコシステム形成





マッチングの「精度」が問われる時代になる

⇒ フルコンテンツへの「送客」で収益をはかる

⇒ 単なるキーワードサーチでは世界に負ける  
最先端の解析技術を持ち続けたい